

リニアは夢の乗り物か？

# ストップリニアニュース No.53

発行：2019.6.10 リニア新幹線を考える相模原連絡会 <http://sagamihara-g.mond.jp/>

## リニア新幹線「2027年度開業」は絶望的!?

橋本駅前の相原高校はこの4月に移転し、その跡地にいよいよリニア新幹線の神奈川中間駅が建設されようとしています。地下3層構造の駅施設は、深さ約30m、幅約50m、長さ約900mの大きさを掘削工事の大部分は地上からの開削工法によって行われます。JR東海はすでに昨年10月に、駅の大枠工事の見積もり公募を開始し、現在もその手続きが進められています。

ここで見逃せないのが、今回の工事の工期が2027年3月31日までとなっている点です。JR東海が27年度開業を目指すのであれば、開削工事の終了後、猶予はたったの1年しかありません。あとに続く地下3階の駅施設の建設、さらに試運転期間まで含めると、残り1年で開業にこぎつけるのは不可能です。

## 試運転期間は2年から1年に短縮

### 「開業延期」を言い出せないJR東海が苦し紛れの回答

この疑問に対してJR東海は、「地下の開削工事が終了する前に、同時進行で駅施設の建設を行い、試運転の開始時期を早めるように調整する」といいます。さらに「品川・名古屋間の試運転は何年間実施するのか」という質問には「全線での開始時期は未定だが、可能な区間から試運転を行う。部分と全体の区別はなく、合わせて一年程度の期間を予定している」と答えています。

6年前の「環境影響評価準備書」に記載された作業工程（14年間）の図の中で、JR東海は最後の2年間を「試運転等」にあてています。それが今回唐突に「1年程度」に短縮されたのは、「開業の遅れ」を認めることのできないJR東海が2027年から逆算して、その場しのぎのつじつま合わせをしたことによるものです。

リニアは無人運転によりトンネル内を時速500kmで走行するという前例のない技術で営業実績はゼロ。非常時の対応、乗務員の訓練なども含め入念な準備期間が必要です。このことはJR東海も理解しているはずであり、全線の試運転期間が1年未満などとはありえない話です。

## リニアに振り回され続ける相模原市

### 財政悪化が将来の市民生活を直撃?

リニア開業を2027年と想定し、新駅周辺環境整備を担う相模原市は、今後JR東海に振り回される形で毎年相当額の財政支出を強いられることになるでしょう。リニア開業後の経済効果を過大に期待しすぎると、結果的に財政難に陥り住民サービスの低下を招く恐れがあります。さらに開業延期となり、それが長期化すれば経済効果による収益はないまま環境整備の支出は増え、しわ寄せは納税者である市民に及ぶこととなります。（籠島）

リニア相模原連絡会

ブログ：<https://linearsagamihara.hatenablog.com/>

ツイッター：<https://twitter.com/tV8aD60PIgYXFFE>

# 藤野区間の非常口が変更！！

リニア新幹線藤野トンネル区間（道志川～上野原市安寺沢）の非常口が変更になります。JR東海によれば、牧馬非常口は新戸非常口に、大羽根非常口は大洞非常口に変更になるということです。リニア新幹線を考える相模原連絡会では、先にこの問題で「JR東海」と「相模原市」に質問状を提出し、回答を得てきました。この中では、以下のような問題点が明らかになっています。

## 1 残土処分は丸投げと責任転嫁

新戸非常口からは56万 $\text{m}^3$ 、大洞非常口からは79万 $\text{m}^3$ もの大量の残土が出るようになっていきます。この残土は新戸、大洞共、当該地の採石場跡地に全量処分するそうです。JR東海は「残土の活用は砕石事業者が責任をもって実施すべきもの。業者が採石法の許認可を受けて実施するので、将来に亘って安全性が確保される」との立場です。残土の処分に最後まで責任を持つものではなく、第三者への丸投げです。また、安全性の問題も、砕石事業者に責任を転嫁する無責任なものです。相模原市もこれを追認する態度です。

## 2 残土の集落と道志川への流出の懸念

新戸非常口の直下には新戸集落が在り、また、新戸、大洞共、直下を横浜水道の水源である道志川が流れています。もし、大量の残土が適切に処理されなければ、流出する危険性もあり、二次被害も懸念されます。

## 3 地域の実情を知る前に入札準備

JR東海は4月19日より藤野トンネル区間工事の入札手続き（競争参加説明書等の交付）に入っていますが、大洞非常口のある長又自治会への説明会はその直前の4月13日に行われています。

地域の実情を知る前に入札の準備を進めていたこととなります。こうした「泥縄式」の対応を見ると、今回の非常口変更や残土の処分が、どこまで十分な検討を重ねて来たものなのか疑問が残るところです。  
（河内）



79万 $\text{m}^3$ の残土が処分される大洞採石場跡地

### ここが知りたいリニア

#### JR東海がリニアを推進する理由は？

1. 東海道新幹線の経年劣化と大地震災害への備え。
2. 東京、名古屋、大阪を結ぶ日本の大動脈の二重化を図る。
3. 東京、名古屋、大阪の大都市間を高速移動させ巨大都市圏をつくる

#### ーリニア推進に疑問ありー

東海道新幹線は現に10年計画で大規模改修工事を実施している。リニアは人を移動するが貨物は運べない。インターネットが多く活用され、現在も未来も人の移動には、さほど必要ではなくなった。現在の新幹線で充分である。リニア新幹線は総事業費が10兆円を超えるだろう巨額である。国民の生活が向上する訳でもない。まずは新幹線の高い運賃を安くしてほしいものだ。（水越久夫）

# 地球に良くない破壊を招くりニア！

## 建設で新幹線の運行にすでに影響あり！（アンケートより）

「住宅地と山岳部のリニアトンネル掘削によるくらしと環境への影響は？～橋本と津久井の場合～」をテーマに5月25日(土) 橋本で学習会を開きました。約60名の参加でした。

### 地震大国、活断層を横切るリニア

元高校教員 早川芳夫氏

4つのプレートが合わさる日本列島は、世界で最も不安定な地域。地震・活火山が集中する自然災害大国にリニアを造るのは大変危険で、何が起こってもおかしくない。丹沢周辺は非常に不安定な地層で、多くの断層、破碎帯をリニアトンネルが横断する計画。

### 相模原台地・境川の地盤沈下

関東ローム層はスポンジ状態で、水脈がトンネル工事で変わり、蓄えられた水が無くなると圧密沈下(地盤沈下)を起こす。JR東海が補償する工事後1年では沈下は終わらない。数十年単位は必要。

### トンネル工事はコワイ

地下水枯渇、地下ガス噴出、地盤沈下・陥没が過去に起きた。昨年、東京外環道の工事で大変な勢いの酸欠気泡噴出事故が発生。リニアも二の舞にならないようにしよう！

### リニア建設費捻出のため人減らし

JR東海労働組合執行委員長 木下和樹氏

東海道新幹線の車掌は3名から2名に。乗務員はクタクタだ。会社は〈のぞみ〉5分に1本の増発計画だが、今でも車内清掃は簡略化。社内はベテランが育たず仕事に誇りを持たず他社に行く人もいる。借金も増え、第2の国鉄になりかねない。(桜井)



## 夢の超特急は夢がない ～相原高校無惨～

4月、相原高校(跡地)の工事が突如始まった。県が言っていた「工事は秋口頃から」は何だったのか。始まったのは、敷地内にある東電の鉄塔と送電線の移設工事だが、実質リニア駅工事の前倒し。人々が見守る中、アリオ側の樹木463本が、暴力的に伐られ、野積みされ、土を掘られ…。そこには夢の超特急の姿はなく、ただの時代遅れの公共事業があらわになった。住民・市民への説明もない。県と市に速やかな説明会の開催と相原高校(跡地)利用計画への市民参画を求める。(吉田)



# 安全を無視、地権者をだます JR東海に怒りの陳述

## リニア新幹線は健康被害や自然破壊をもたらすことは明らか 「リニアは絶対にいらない！」の思いを新たに

5月17日のストップ・リニア訴訟第14回口頭弁論を傍聴しました。

今回も全国各地から傍聴に来ておられました。

この日の裁判では、1次訴訟と2次訴訟の一体性を弁護士さんが陳述、3人の原告（相模原・山梨・長野）の方からの意見陳述が行われました。

裁判は今後合わせて審議することになりましたが、これまでに指摘されてきた危険性、違法性に答えないまま工事が進行していることにJR東海はもちろん裁判官もどう責任取るのでしょうか。

裁判長は後半に原告適格について審議を始めたいと発言し、弁護団から、当然にも原告それぞれが訴える理由も権利もあることを主張されていました。例えば相模原の原告萩原さんのように建設予定中心から10メートル以上離れていたなら、個別説明も補償もしないなどというJR東海です。何がなんでも反対の声を小さくして運動をつぶしたいようです。私は南区の住民ですが、原告ではない、被害はない、意見は聞かない！というのでしょうか？冗談ではありません。

裁判の後の武内更一弁護士のお話で、実際に世田谷で住宅の真下の巨大トンネル工事で異変が続出していると聞き、リニアは絶対いらないと確信が持てました。（西村綾子）

### <今後の裁判スケジュール>

第15回

7月19日（金）14:30～

第16回

10月11日（金）14:30～

第17回

12月20日（金）14:30～



### リニア新幹線建設反対の短歌

郡山 直「相模原市」

膨大な残土の処理をどうするか狭い日本で困った状況  
山削り地下掘り起こし住宅に振動与え水脈も壊す  
リニア線作る金あれば新幹線の料金減らし旅行者助ける

お願い

★ 活動はみなさまのカンパで維持しています、ぜひご協力をお願いします。  
郵便振替口座：00240-7-71305 口座名：リニア新幹線を考える相模原連絡会

発行者：代表 浅賀きみ江 相模原市緑区東橋本 2-6-2 携帯 090-4378-9257